

目的と目標

仕事を通じ顧客と従業員、仲間を
幸せにし社会に貢献する

仕事（労働）は、人に命令されてやってい
るだけでは動物の次元と同じ。
より以上を意欲的に求め、
価値を創り出すものです。
仕事とは、価値を創り出す
ことです。
但し、その価値は他人が決定
します。
人間性（格）は、
1、人は不完全で短所を持

つ自覚と素直な謙虚さです。
2、自己創造、自己実現、
より以上を目指し生きるこ
と。
3、人に役立つ存在になる
こと。
人に喜んでもらう能力と人
間性の成長です。
人の道に外れた人格の経済
行動は、労働観念の変革を
促進します。

会社（組織）は、
時代に合う新しい魅力と
価値を創り出す独創力です。
成長し挑戦し続けること。
このために内外に学び、客
に教わることでしよう。
商品の差別化、魅力的な
機能の提案と、内部の効率
化が自社の強みになり優位
性を生みます。
強みと弱み自体、環境によっ
て変化し、コインの表裏一
体です。強みをより伸ばす
ことが会社にとって正解で
しょう。
会社の強みは資本や設備で
はない、殆どが「人」に帰
結しないでしょうか。

目的と目標は、事業戦略
のゴールを決めるものでは
から、「見える化」にとつ
て必要不可欠であります。
世界は日本の繊細な技術
力を使わなければ全て最先
端の製品は実現しない。こ
の現実を知らなければなら

事実の一つでなく、無限で
す。
宇宙自体、真理や法則によつ
て動いているのではなく、新
たな秩序を模索しながら動
いている。永遠に変わらない
本質はなく、宇宙の本質
は「カオス」です。変化し
続け「真実は無限」であり
ます。

昨日より今日

戦後の民主主義は、権利を主
張し合い、攻め合う社会です。
自由と平等の対立軸である
権利と義務が、今日社会を混
乱に導いていないか。

合していないのではないか。
共生を排除する仕組み、TP
P（関税無し）のグローバル社
会は、欧米の覇権のため必
要不可欠ではないか。
世界で起っている事件や出

なぜこの国が長期間をデフ
レで苦悩するのでしょうか。
追米、安保政策ですからか
本来優れた民度が、暴力に
たいしての防衛力でしょう。
国家の歴史は民族と思想、
風土の積み重ねです。
日本史、歴史観から学ぶ必
要があります。
現代は江戸から四百年、日
本近代化の基礎は江戸東京

にあります。
日本は「和」の歴史、基本
に学ばなければならない。
我々は世界最高度の質を
求め、繊細で優美な究極の
完成度を求める美意識の民
族です。
これをもつてしても日本は
人類の平和に大きく貢献で
きる民族であります。
第二次世界大戦後のユネ
スコ憲章の前文に「戦争は
人の心の中で生まれるもの
であるから、人の心の中に
平和の砦を築かなければなら
ない」と掲げています。

「時代を創る原理は、時代を
滅ぼす原理でもある」という
歴史の法則が働いています。
権利と義務という理性的な
原理によつて創られる欧米型
の社会は、新しい時代に適
合していないのでしょうか。
スピード化した人間社会の
延長に変化した未来があ
りますが、一方で未来が現在
を提示しているとの見方もあ
ります。明文化された法自
体は変化に対応していません。
即ち社会の常識を疑う必然
性が、全くないでしょうか。